

令和7年度 第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時： 令和8年2月19日(木)

午前10時～11時

場 所： 教育プラザ研修棟3階 大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 令和8年度 事業計画・予算案について (10:05～10:45)

・令和8年度 社会教育の方針

資料No.1

・令和8年度 一般会計当初予算要求について

資料No.2

・令和8年度 補助金交付事業計画(案)

資料No.3

(2) 社会教育委員による事業評価について (10:45～10:55)

資料No.4

(3) その他 (10:55～11:00)

・「上越科学館子どもたちの学びの場充実事業」で整備した
新規展示物の公開について

資料No.5

4 その他

5 閉 会

会議終了後に上社連についての報告等の情報交換会を行います。(30分程度)

【現状と課題】

- （多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実）**
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題・同和問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 学びに対する市民ニーズを的確に把握し、地域社会の要望に即した学習機会と情報を提供するとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会を提供する必要がある。一方で、参加者の減少や固定化、事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
 - 引き続き関係課と連携し、令和8年度からの改革実行期間における文化部活動の地域展開を進めていく必要がある。
- （家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成）**
- 少子高齢化や地域社会の連帯意識の希薄化等により、地域の教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境が大きく変化している。
 - 20の地域青少年育成会議では、各地域の状況に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革等による学校との関係や事業のあり方に課題が生じている地域もあることから、支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 高等学校や社会人となる段階など、若者が自立していく中でつまずきや不適応によって、不登校やひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、自立に向けた途切れのない支援活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）**
- デジタル化の進展に伴い、より一層行政サービスの高度化が求められていることから、引き続き、所管施設の ICT 環境を整えておく必要がある。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - 公民館など所管する多くの施設は老朽化が進み、多額の経費負担が生じていることから、適切な維持管理や利用実態に合わせた管理の見直しを検討する必要がある。

【目指す姿】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」



【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPO等の民間団体の取組と連携し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり、成果披露の機会の提供等を通して学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 文化部活動の地域展開の取組を通じて、子どもと地域の文化芸術団体が共に活動する環境づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育、同和教育を推進する。

【取組方向②】

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

- 家庭・地域・学校が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、公民館等と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図ることで担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後に困難を抱える若者の自立に向けた支援を進め、若者の居場所「Fit」の運営を中核とした若者及び保護者への支援の充実を図る。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、整備した ICT 環境の活用を図る。
- 施設の実態や利用状況を踏まえ、安全確保のための修繕や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 公の施設の適正配置計画に基づく取組を進める。

【令和8年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育、同和教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・ふるさと上越の豊富な地域資源や人材を活用した謙信 KIDS プロジェクトの実施
 - 未来をひらく人づくり
 - ・地域の多様な文化芸術団体と連携した地域クラブ活動の展開や子どもたちが文化芸術に触れることができる体験イベントの開催
 - ・文化部活動の地域展開の取組推進と生涯学習活動の活性化
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・各地区公民館において、地域の課題解決の気づきとなるような講座を地域と連携して実施
 - 市民の主体的な学びの意欲・関心が高まるよう、公民館での多様な取組を通じた、人づくり、地域づくりの推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 3-1-1 人権・多様性の尊重、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進 プラン6 人権・多様性の尊重

家庭・地域・学校が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・各地区公民館において家庭教育支援講座や親子活動講座等を実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議の訪問を通じた各地域の状況把握、課題に対する好事例の共有や研修会を通じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページや SNS、広報紙等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所「Fit」の運営と個に応じた支援の充実
 - ・「上越市親の会」の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障、5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1-2 多様な学習活動の推進
- プラン3 多様な学びの推進

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理
 - ・社会教育活動の質の向上を図るため、所管施設に整備したインターネット環境を活用した事業の企画・実施
 - ・利用者が安全に安心して利用できる適切な施設の維持管理
 - ・新たに導入した展示物や利用者ニーズを捉えた上越科学館の運営と利用促進
 - 施設の適正配置の取組推進
 - ・耐震規準を満たしておらず、老朽化が著しい諏訪地区公民館を開校する諏訪中学校内に移転整備
 - ・公の施設の適正配置計画により整理が必要な施設について、将来を見据えた協議の実施
- ＜第7次総合計画・第3次総合教育プラン＞
- 5-3-1-1 多様な学習機会の充実、5-3-1 多様な学びの推進
- プラン3 多様な学びの推進

令和8年度 一般会計当初予算要求一覧（案）

単位：千円

No.	事業名称	令和8年度 要求額	令和7年度 予算額	増減額	備 考
	社会教育課合計	1,234,966	765,953	469,013	
1	二十歳を祝うつどい運営事業	7,055	7,675	▲ 620	
2	社会同和教育活動事業	9,700	3,956	5,744	
3	社会教育推進費	3,740	3,863	▲ 123	
4	社会教育指導員設置費	0	13,114	▲ 13,114	社会同和教育活動事業及び青少年教育活動事業へ統合による減
5	上越科学館管理運営費	69,938	109,242	▲ 39,304	事業（企業版ふるさと納税を活用した新展示物導入）完了による減
6	青少年教育活動事業	19,426	12,754	6,672	
7	青少年健全育成センター運営費	21,833	21,378	455	
8	生涯学習推進事業	6,475	6,160	315	
9	美術展覧会事業	7,247	7,176	71	
10	春日謙信交流館管理運営費	14,435	13,336	1,099	
11	八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	27,406	28,435	▲ 1,029	
12	上越清里星のふるさと館管理運営費	23,460	21,246	2,214	
13	ユートピアくびき管理運営費	74,862	63,456	11,406	大規模改修設計委託の要求による増
14	はーとびあ中郷管理運営費	25,967	125,634	▲ 99,667	空調改修工事の完了による減
15	生涯学習センター管理運営費	176,960	25,217	151,743	安塚区の旧生涯学習センター（須川、船倉）の除却費の要求による増
16	七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費	706	601	105	
17	公民館事業	100,617	96,695	3,922	
18	公民館施設整備事業	401,852	11,825	390,027	諏訪地区公民館の移転整備費の要求による増
19	公民館管理運営費	243,287	194,190	49,097	柿崎地区公民館の屋上防水工事及び吉川地区公民館竹直分館の除却費の要求による増

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
二十歳を祝うつどい運営事業	7,055	7,675	△620

主な財源		主な経費	
一般財源	7,055	旅費	14
		需用費	1,783
		役務費	166
		委託料	5,092

【目的】

大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。

【8年度目標】

- ・旧友との再会や式典への参加を通して、上越市で生まれ育ったことを改めて認識してもらうとともに、大人としての自覚と自立を促す機会とする。
- ・出席率：75%

【実施内容】

日時	令和8年4月4日（土）午後1時30分から
会場	リージョンプラザ上越インドアスタジアム
対象者	令和7年度中に満20歳を迎えた市民及び出身者（約1,750人）
内容	<p>第1部「式典」（市主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開式のことば ・国歌斉唱 ・激励のことば（市長） ・お祝いのことば（市議会議長） ・来賓紹介 ・代表スピーチ（参加者代表4人） <p>第2部「記念行事」（二十歳を祝うつどい実行委員会主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者9人で構成する実行委員会が企画・実施する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
社会同和教育活動事業	9,700	3,956	5,744

主な財源		主な経費	
諸収入	7	報酬	4,801
一般財源	9,693	報償費	628
		職員手当等	1,297
		旅費	406
		共済費	989
		委託料	1,066

○白山会館事業 7,756

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である「白山会館」を核とした各種事業を実施し、事業参加者から人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深めてもらう。

【8年度目標】

全ての市立小中学校が現地学習会を実施する。

【実施内容】

- ・市内外の教職員や行政職員等を対象に、人権・同和問題を学ぶ現地学習会を開催する。
- ・地域住民と関係者との交流事業を実施し、互いの理解をより一層深める。
- ・人権に関する図書、資料等を購入し、白山会館所蔵図書の充実を図るとともに、市ホームページで紹介し、利用希望者への貸出しを行う。
- ・教職員等現地学習会や人権を考える講話会等の市民啓発事業に従事する社会教育指導員2人を配置する。

○小中学生学習会 221

【目的】

学習会を通して、学力の向上や仲間づくりを図る。

【8年度目標】

学校及び地域の協力を得て、対象児童が安心して学習できる環境を整備する。

【実施内容】

- ・白山会館を会場に、地区及び地区出身の小中学生を対象とした学習会を実施する。
- ・対象者数及び開催曜日
小学生：1人 毎週月曜日（予定）※令和8年度は中学生対象者なし

○白山会館管理運営 1,349

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に管理運営する。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に白山会館を利用できるよう、適切な管理運営を行う。

【目的】

人権を考える講話会や各機関・団体が主催する人権・同和問題に関する研修会へ講師を派遣し、市民が同和問題（部落差別問題）を始めとする人権問題に対して正しい理解と認識を深めるとともに、差別意識の払拭を図ることで、基本的人権が真に保障される地域社会の実現を目指す。

【8年度目標】

市内の13小学校区で人権を考える講話会を実施する。

【実施内容】

- ・市内各小学校区を単位として、保護者や地域住民を対象に人権を考える講話会を開催する。全ての小学校区を3年間で一巡する計画で実施する（7巡目の3年度）。
- ・各機関・団体が主催する人権・同和問題に関する研修会の講師として、社会教育指導員を派遣する。
- ・人権・同和問題に関する各種研修会に白山会館運営委員や職員が参加し、人権意識の向上を図る。

※令和8年度のうち、一部の経費は10款5項1目の社会教育指導員設置費から移行

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
社会教育推進費	3,740	3,863	△123

主な財源		主な経費	
一般財源	3,740	報酬	225
		旅費	74
		需用費	19
		負担金補助及び交付金	3,422

○社会教育委員 429

【目的】

社会教育委員による調査・研究や提言などを通して、当市における社会教育を推進する。

【実施内容】

社会教育委員による社会教育事業の評価や提言を事業に反映させる。

・委員数：18人

・職務：教育委員会が実施する各種社会教育事業への参画や調査・研究、各種研修会への参加等の幅広い活動を通して社会教育に関する助言、提案等を行う。

※公民館における各種事業の企画実施に関し、必要に応じて調査審議する公民館運営審議会委員を兼任

○上越地区広域視聴覚教育協議会負担金 3,311

【目的】

視聴覚教育の発展と普及を目指した活動を行っている上越地区広域視聴覚教育協議会（構成市：上越市、糸魚川市、妙高市）の運営を支援する。

【実施内容】

・上越市、糸魚川市及び妙高市の3市で設置している上越地区広域視聴覚教育協議会の円滑な運営及び視聴覚教育の振興を支援する。

・利用登録団体（管内の学校や社会教育に係る団体など）の増加及び利用促進のための広報活動を実施する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
上越科学館管理運営費	69,938	109,242	△39,304

主な財源		主な経費	
繰入金	2,132	報償費	60
一般財源	67,806	委託料	65,130
		旅費	2
		需用費	2,248
		使用料及び賃借料	2,498

【目的】

市民の自然科学に関する教養を高め、市民の文化向上に寄与するため、上越科学館の管理運営を行う。

【8年度目標】

- ・上越地域の科学教育の拠点施設として来館者が学びを深めることができるよう、様々な体験や情報、サービスを提供する。
- ・年間利用者：95,000人
(令和5年度：70,500人、令和6年度：88,633人、令和7年度見込み：84,200人)

【実施内容】

- ・指定管理者が有する知見や専門性をいかし、質の高い事業及びサービスを提供する。
- ・施設利用者及び事業の参加者が安全安心に利用できるように、施設・設備の適切な管理運営を行う。

○指定管理者による管理

団体名	新東産業株式会社
所在地	東京都渋谷区東一丁目26番20号
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
事業内容	自然観察教室、科学工作教室、サイエンスショー、発明工夫・模型・工作展、標本作品展、特別展、出前授業、体験教室など

<参考>施設の概要

所在地	下門前446番地2
構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積4,351㎡
展示等	「人間の科学」と「雪の科学」を基本テーマとした9つのゾーンからなり、常設展示物のほか、低温実験室、実験工作室などの設備を有する。
開館時間	午前9時～午後5時(夏期特別展期間中は変更する場合あり)
休館日	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、12月29日～翌年1月1日
入館料	未就学児童 無料、小中学生310円(230円)、一般620円(460円) ※()内は団体(20人以上)料金 年間入館券は、小中学生780円、一般1,550円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
青少年教育活動事業	19,426	12,754	6,672

主な財源		主な経費	
県支出金	2,237	報酬	6,287
財産収入	1,853	報償費	1,683
諸収入	996	委託料	1,957
一般財源	14,340	使用料及び賃借料	1,162
		負担金補助及び交付金	
			3,219

○地域学校協働本部事業 3,382

【目的】

地域で育てたい子ども像を学校と地域が話し合っ共有し、互いに連携しながら地域の特色をいかした教育活動に取り組むなど、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの健全育成を推進する取組を支援する。

【8年度目標】

- ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図るため、地域と学校をつなぐ役割の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の活動を支援する。
- ・地域学校協働活動推進員の年間活動回数：950回

【実施内容】

- ・地域と学校の調整役として重要な役割を担っている地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の資質向上のため、新任者研修、実務者研修及び意見交換会を開催する。
- ・各地域青少年育成会議の活動状況や現状課題について情報収集や意見交換を行い、それぞれの地域に合った青少年の健全育成活動を推進する。

○謙信KIDSプロジェクト 13,084

【目的】

ふるさと上越の地域資源や人材をいかした魅力ある体験活動を通して、子どもたちの学ぶ意欲やふるさとを愛する心を育成するとともに、グローバル社会に生きる力を育てる。

【8年度目標】

参加者の自己目標達成度：95%以上

【実施内容】

- ・市内の小学生を対象に、上越の特色ある産業について学ぶ「エネルギーとチタン」、越後の中心であった時代の城と武将について学ぶ「城と武将」、発酵食品の特性などについて学ぶ「食」など、18講座23コースの体験活動を行う。
- ・講座に参加する子ども同士の交流活動を通じて、学校外の仲間づくりを推進する。
- ・謙信KIDSプロジェクトの企画・運営、改善に向けた指導・助言等に従事する社会教育指導員2人を配置する。

※令和8年度のうち、一部の経費は10款5項1目の社会教育指導員設置費から移行

○各種団体補助金 1,636

【目的】

青少年の健全育成に関わる団体に補助金を交付し、活動の活性化を図ることにより、青少年の健全育成を推進する。

【8年度目標】

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会が行う事業を支援し、団体の自立を促すとともに、家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図る。
- ・子ども交流活動支援事業補助金について十分な周知を図り、利用の促進につなげる。

【実施内容】

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会補助金（1,355）
上越市小中学校PTA連絡協議会が行う事業を支援する。
- ・岩内町交流事業補助金（40）
上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業を支援する。
- ・子ども交流活動支援事業補助金（200）
町内会単位の子ども会や地区単位の子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議等が行う異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる活動を支援する。

○地域独自の予算事業 1,324

- ・すわっ子わくわく事業（諏訪区）（395）
子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、二貫寺の森での野外活動や各種体験教室等を実施する。
実施主体：すわっ子クラブ
- ・上雲寺小学校児童の地域お宝発見・地域住民ふれあい事業（津有区）（138）
児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、地域連携カレンダーを作成し配布する。
実施主体：上雲寺小学校後援会
- ・青少年健全育成体験事業（牧区）（405）
子どもたちに、普段できない体験活動を通じた学びの場を提供するため、体験型イベント「わんぱく村」を開催する。
実施主体：特定非営利活動法人牧振興会
- ・第9回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展（柿崎区）（386）
ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。
実施主体：手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
青少年健全育成センター運営費	21,833	21,378	455

主な財源		主な経費	
繰入金	298	報酬	7,816
一般財源	21,535	旅費	350
		職員手当等	1,822
		負担金補助及び交付金	
		共済費	1,432
			9,777

○青少年育成支援事業 12,056

【目的】

青少年の健全な育成のために関係機関や団体と連携し、非行や問題行動の未然防止やひきこもり等の生きづらさを抱える青少年の社会的自立を図る。

【8年度目標】

- ・青少年の非行防止や健全育成に関する年3回の研修を通して青少年健全育成委員の資質向上を図るとともに、「愛の一声」を中心とした街頭指導により青少年の問題行動等の未然防止に取り組む。
- ・若者の居場所「Fit」を中核とした若者育成支援事業の一層の充実を図り、ひきこもり等の様々な困難を抱える若者の自立を支援し、一步前に歩み出すことができる若者を増やす。

【実施内容】

- ・通年実施の街頭指導や青色回転灯装備車両（青パト）による年間約150回の巡回指導のほか、警察関係者や高等学校等と協力して年2回の特別街頭指導を実施する。
- ・有害図書類自動販売機等の現地確認調査を実施し、新潟県青少年健全育成条例に基づき指導する。
- ・若者の居場所「Fit」を中核とする個に応じた自立支援活動・相談を実施する。
- ・関係機関との連携ネットワークを活用し、困難を抱える若者の支援活動を推進する。

○地域青少年育成会議活動支援 9,777

【目的】

地域青少年育成会議の活動を支援し、青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図る。

【8年度目標】

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を始めとする市内20の地域青少年育成会議関係者に対し、学校・家庭・地域の連携・協働に対する研修の機会を設ける。

【実施内容】

- ・地域青少年育成会議協議会への交付金の交付及び各地域青少年育成会議の活動に対する実務指導を通じて、各地域の活動を支援する。
- ・「地域の子どもは地域で育てる」という市民の意識醸成を図るため、広報紙の発行支援を行うとともに、実践事例発表会及び意見交換会や各育成会議の取組事例について周知する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生涯学習推進事業	6,475	6,160	315

主な財源		主な経費	
繰入金	70	報酬	3,643
一般財源	6,405	旅費	321
		職員手当等	1,050
		役務費	194
		共済費	858
		負担金補助及び交付金	309

○生涯学習関連業務 6,166

【目的】

学習機会や指導者等の情報を提供することにより、市民の自主的・自発的な学習活動を支援し、生涯にわたる学習活動の充実を図る。

【8年度目標】

- ・様々な分野で活動している団体や指導者の情報を収集し、市民に提供することで、市民の自主的、自発的な学習活動を支援する。
- ・出前講座の年間派遣回数：1,100回

【実施内容】

- ・成年年齢を迎える市民（18歳）に市からのメッセージはがきを送付し、新成人への祝意を示すとともに、郷土に対する誇りと愛着を感じてもらう。また、市が伝えたい事項を掲載したホームページへ誘導することで、成人としての自覚や責務を認識してもらう機会とする。
- ・市内で活動する団体・サークル、各種講座の指導者情報を収集し、市ホームページへの掲載や冊子の施設への設置を行い、広く市民に提供する。
- ・生涯学習に対する意欲を高めるため、市民が開催する講座や学習会等に市職員を講師として派遣する。

○上越市民芸能祭 200

【目的】

芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに、市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動に参加する機運を醸成する。

【8年度目標】

市民芸能祭（洋舞、民謡・民舞、合唱、古典芸能、フラダンス、よさこいの6部門）の開催を通じて、市民に芸能学習活動の成果を発表する場と多様な芸能に触れる機会を提供する。

【実施内容】

市内の芸能団体が日頃の活動成果を発表し、市民が芸能を身近に感じ鑑賞する機会として、部門ごとに「つどい」を開催する。

部 門	開催日	会 場
洋舞	5月30日（土）	上越文化会館
民謡・民舞	6月14日（日）	リージョンプラザ上越
合唱	7月5日（日）	上越文化会館
古典芸能	11月22日（日）	高田城址公園オーレンプラザ
フラダンス	12月13日（日）	上越文化会館
よさこい		

○地域独自の予算事業 109

- ・「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業（牧区）

仲間づくりやふれあいを大切にする気持ちを醸成し、文化活動実践者及び鑑賞者の裾野を広げるため、「生涯学び続けることの楽しさ」を伝える「夢まつり」を開催する。

実施主体：牧文化協会

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
美術展覧会事業	7,247	7,176	71

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	604	報酬	466
繰入金	203	需用費	1,185
一般財源	6,440	報償費	1,532
		委託料	3,290
		旅費	251
		負担金補助及び交付金	300

○新潟県美術展覧会上越展事業 1,242

【目的】

新潟県美術展覧会上越展の開催を通じて、市における美術・芸術文化の振興を図る。

【8年度目標】

- ・歴史と伝統を持つ県内最大の公募展である県展巡回展の開催を通じて、市民の美術・芸術活動への関心を高めるとともに、優れた美術・芸術文化に触れる機会を提供する。
- ・入場者数：1,900人

【実施内容】

第80回新潟県美術展覧会上越展を開催する。

会期	令和8年6月3日（水）～7日（日）
会場	教育プラザ体育館
主催	新潟日报社、新潟県、新潟市、長岡市、上越市教育委員会ほか

○上越市美術展覧会事業 6,005

【目的】

市民に美術・芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術・芸術文化の振興を図る。

【8年度目標】

- ・市民の美術への関心を高め、若年層を含めた出品者及び来場者の増加につなげる。
- ・出品者に対する新規出品者の割合：25.0%

【実施内容】

第55回上越市美術展覧会を開催する。

会期	令和8年10月4日（日）～12日（月・祝）
会場	高田城址公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町
入賞	市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞

- ・全国で活躍する作家や学識経験者等を審査員に迎え、日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸・グラフィックデザイン、書道、写真の6部門の入賞・入選作品を展示する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日謙信交流館管理運営費	14,435	13,336	1,099

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,608	市債	1,000
財産収入	22	一般財源	9,752
諸収入	53	需用費	4,777
		役務費	313
		委託料	7,551
		使用料及び賃借料	631
		工事請負費	1,163

【目的】

地域住民が集い交流する場を提供することにより、にぎわいと活力ある地域社会の形成を図る。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、地域の交流の場となるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	春日山町三丁目1番60号
構造等	鉄骨造平屋建て 延床面積 878.58 m ²
施設内容	集会室、会議室、和室、調理室、情報コーナー、広場、その他附属施設
開館時間	午前8時30分～午後10時
休館日	12月29日～翌年1月3日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	27,406	28,435	△1,029

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	5,267	一般財源	21,989
財産収入	29	需用費	10,645
諸収入	121	役員費	143
		委託料	16,281
		使用料及び賃借料	337

【目的】

様々な世代が集い交流する場を提供することにより、地域活性化と住民の連帯感の醸成を図る。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、世代間の交流の場となるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

(1)八千浦交流館はまぐみ 25,085

所在地	大字下荒浜 982 番地 41
構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,540.87 m ²
施設内容	多目的ホール、浴場、休憩室、三世代交流ホール、学習室、調理室、多目的室、集会室、工作室、幼児遊戯室、その他附属設備
開館時間	浴場及び休憩室：午前 10 時～午後 9 時 その他の施設：午前 9 時～午後 9 時
休館日	毎月第 2 火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

(2)スポーツハウスはまぐみ 2,321

所在地	大字下荒浜 982 番地 38
構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,346.25 m ²
施設内容	体育室、休憩室、広場、その他附属設備
開館時間	午前 9 時～午後 9 時
休館日	毎月第 2 火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
上越清里星のふるさと館管理運営費	23,460	21,246	2,214

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	1,564	報酬	7,483
諸収入	230	需用費	4,386
一般財源	21,666	委託料	2,699
		使用料及び賃借料	4,756
		工事請負費	951
		備品購入費	214

【目的】

- ・天体観測及び天文に関する資料の展示等を通じた学びの機会を提供する。
- ・体験学習の施設として、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。

【8年度目標】

- ・天体観測やプラネタリウムの上映、「櫛池の隕石」を中心とした展示等を通じて、天文への関心を高め生涯学習の振興と青少年の健全育成につなげる。
- ・入館者数：7,000人
(令和5年度：6,446人、令和6年度：6,431人、令和7年度：6,958人)

【実施内容】

- ・望遠鏡を使用した天体観測やプラネタリウムの利用者に向けた星の解説など、来館者が天文の知識を分かりやすく深められる取組を行う。
- ・県指定文化財「櫛池の隕石」について、9月に開催予定の隕石落下記念観望会において広く紹介する。
- ・幼児や小中学生を対象にしたプラネタリウムの利用に際しては、それぞれの学びの段階に応じた解説を提供するとともに、上映番組の内容を充実させ、参加型の質疑応答や双方向型の体験を盛り込むことで、来館者の好奇心を刺激し、満足度向上を目指す。
- ・季節や暦、天文現象に応じた観望会や出前講座などの事業を通じ、星や宇宙についての学びのきっかけづくりを行う。
- ・利用者が安全かつ安心して施設を利用できるように、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	清里区青柳 3436 番地 2
構造等	鉄骨・一部鉄筋コンクリート造 5 階建て 延床面積 770.77 m ²
施設内容	県内最大の口径 650mm 天体望遠鏡、ドーム径 8.5m のプラネタリウム 52 席、県指定文化財「櫛池の隕石」の展示
開館時間	午前 10 時～午後 5 時 土曜日及び 5・6・8・9・10 月の金曜日は、午後 10 時まで
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12 月 1 日～翌年 3 月 31 日

○地域独自の予算事業 801

- ・スターフェスティバル 2026 及び天文教育普及事業（清里区）

上越市唯一の天文体験施設「上越清里星のふるさと館」を拠点として、地域住民の郷土愛を育み交流人口の拡大を図るため、スターフェスティバルの開催や天体観望リーフレットの制作と配布、夜間観望会における解説などを実施する。

実施主体：天文指導協力委員会

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ユートピアくびき管理運営費	74,862	63,456	11,406

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,498	市債	7,300
財産収入	95	一般財源	64,924
諸収入	45	報酬	23,871
		職員手当等	6,700
		共済費	5,272
		需用費	14,281
		委託料	18,253
		使用料及び賃借料	4,677

【目的】

多様な生涯学習活動の場を提供することにより、市民の文化・レクリエーション活動の振興を図り、魅力ある地域社会の形成に資するため、施設の維持管理を行う。

【実施内容】

- ・利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。
- ・令和9年度以降の外壁改修工事に向けた実施設計業務を行う。

<参考>施設の概要

希望館

所在地	頸城区百間町 716 番地
構造等	鉄筋コンクリート造 4 階建て 延床面積 5,863.07 m ²
施設内容	ホール…多目的ホール、控室、音楽室 会議室…企画ルーム、第1・第2・第3会議室、第1・第2研修室 機能室…生活工房 A・B、美術工芸室 保健棟…トレーニングルーム、機能回復室、健康相談室 福祉棟…無憂の間、和室、趣味の創作室等
開館時間	午前 9 時～午後 10 時
休館日	月曜日、休日の翌日、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

※希望館以外の体育施設については、体育施設管理運営費に予算を計上

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
はーとぴあ中郷管理運営費	25,967	125,634	△99,667

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	660	給料	2,340
財産収入	29	職員手当等	770
諸収入	40	共済費	688
	一般財源 25,238	需用費	9,750
		委託料	10,959
		工事請負費	820

【目的】

市民の教養と文化の向上及び生涯学習の振興を図り、魅力ある地域社会の形成に資するため、施設の管理運営を行う。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動や文化芸術活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	中郷区二本木 1763 番地
構造等	鉄筋コンクリート造 3 階建て一部 2 階建て 延床面積 2,846.30 m ²
施設内容	学習棟…研修室、創作室、学習室、和室等 ホール棟…ホール、楽屋、レッスン室 車庫棟…陶芸工房、陶芸作業室
利用時間	午前 9 時～午後 10 時（午後 7 時以降は予約状況に応じて閉館）
休館日	月曜日（休日の場合は翌日）、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生涯学習センター管理運営費	176,960	25,217	151,743

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	143	報酬	7,168
諸収入	648	委託料	6,000
市債	136,900	共済費	1,623
		需用費	5,872
		使用料及び賃借料	805
		工事請負費	152,942

【目的】

地域における生涯学習及び生涯スポーツを推進し、生活文化の振興と健康増進を図るため、地域生涯学習センターの管理運営を行う。

【実施内容】

- ・利用者が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動や文化活動等が促進されるよう、適切な管理運営を行う。
- ・令和8年4月廃止の須川地域生涯学習センター（安塚区）及び令和4年4月廃止の旧船倉地域生涯学習センター（安塚区）について、冬期間の除雪を考慮し施設の除却を行う。

<参考>施設の概要

施設名	所在地	構造等	主な施設内容	開館時間 ・休館日
中川	安塚区坊金 1066番地2	鉄筋コンクリート造 延床面積 1,229.0 m ²	会議室、研修室、 ふれあい交流室	午前8時30分 ～午後10時 休館日：なし
伏野	安塚区真荻平 2793番地	鉄筋コンクリート造 延床面積 376.0 m ²	調理実習室、研 修室	
菱里	安塚区円平坊 941番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 2,800.0 m ²	体育館、会議室、 視聴覚室	
大島	大島区仁上 5607番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 700.77 m ²	ゲートボールコ ート、研修室	
源	吉川区山直海 801番地1	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 1,989.0 m ²	会議室、工作室、 体育館	
片貝	中郷区片貝 92番地2	鉄骨造 延床面積 794.34 m ²	体育館	
櫛池	清里区棚田 525番地1	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 延床面積 2,604.57 m ²	体育館、会議室	
不動	名立区瀬戸 722番地	鉄骨造、鉄筋コンクリート 造、木造 延床面積 1,422.0 m ²	体育館、会議室、 ふれあいルーム	

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費	706	601	105

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	165	報償費	68
諸収入	28	需用費	321
一般財源	513	役員費	9
		委託料	284
		使用料及び賃借料	21
		負担金補助及び交付金	3

【目的】

集会、学習、レクリエーション活動などの多目的な活動の場を提供し、地域住民の生活文化の向上に寄与するため、施設の管理運営を行う。

【実施内容】

利用者が安全安心かつ快適に利用でき、生活文化の向上に資するよう、適切な管理運営を行う。

<参考>施設の概要

所在地	柿崎区金谷 428 番地 1
構造等	木造 2 階建て 延床面積 242.58 m ²
施設内容	会議室（大会議室、小会議室）、集会室、調理実習室
利用時間	午前 8 時 30 分～午後 10 時
休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館事業	100,617	96,695	3,922

主な財源		主な経費	
財産収入	343	一般財源	96,102
繰入金	2,987	報酬	57,718
諸収入	1,185	職員手当等	16,967
		共済費	13,597
		報償費	4,873
		旅費	2,120
		需用費	2,240

○公民館事業 99,493

【目的】

「学びの輪が 人をはぐくみ 地域をつなぐ」を社会教育の目指す姿とし、学びを通じた人づくり、地域づくりを図る。

【8年度目標】

実施内容に掲げる(1)学びのきっかけづくり、(2)未来をひらく人づくり、(3)人をはぐくむ家庭環境づくり、(4)地域や社会の課題を踏まえた地域づくりに該当する 197 事業の受講者延べ人数：9,492 人

(令和5年度：8,796人、令和6年度：9,018人、令和7年度見込み：10,626人)

【実施内容】

1 全体概要

公民館で行う事業等を次の5つに分類するとともに、全ての地区公民館で(1)から(4)に該当する事業を実施する。

(1)学びのきっかけづくり

誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる。

「歴史講座」、「郷土料理教室」、「ノルディックウォーキング教室」など55事業を行う。

(2)未来をひらく人づくり

地域での学びや地域との関わりを通じて、主体的に学ぶことの楽しさや喜びを知り、子どもたちのチャレンジ精神とふるさとへの愛着を育てる。

「子ども体験教室」、「書初め教室」、「平和学習講座」など57事業を行う。

(3)人をはぐくむ家庭環境づくり

家庭、学校、地域が連携し、ともに学び、子どものすこやかな育ちを支える。

「家庭教育支援講座」、「親子料理講座」、「ベビーマッサージ講座」など31事業を行う。

(4)地域や社会の課題を踏まえた地域づくり

地域課題や現代課題を学び、課題解決に向けた意識を高めることにより、豊かな地域社会づくりにつなげる。

「ふるさと未来づくり事業」、「人権・同和問題に関する講座」、「防災講座」など54事業を行う。

(5)行動する人への支援

芸術・文化に親しむ場の提供や、意欲を持って行動する人・団体を支援することにより、持続可能な活動と未来への学びの輪をつなげる。

「生涯学習フェスティバル」、「地域スポーツ大会」など 118 事業の活動支援を行う。

2 重点事業

少子高齢化や核家族化など地域コミュニティの希薄化による地域力の低下といった地域・現代課題に対応するため、以下の事業に重点的に取り組む。

事業名	概要
ふるさと未来づくり事業	様々な地域課題等の現状を捉え、地域の活動団体等とも連携しながら、実情に応じた課題解決の手法を培い、地域づくりにつながる行動の輪を広げる。

○公民館図書室事業 1,124

【目的】

地域の拠点である公民館で身近に本を手にとることができる機会を提供するとともに、利用団体等の活動に役立つよう、図書資料の充実を図る。

【実施内容】

- ・公民館利用者や利用団体等の意見や要望を参考に、図書の新規購入、配架を行う。
- ・公民館事業を経て活動する自主グループや地域活動団体が活用できるよう、公民館事業の内容や地域づくりに関連した図書資料の充実を図り、地域住民が公民館で図書に親しむ機会を提供する。

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館施設整備事業	401,852	11,825	390,027

主な財源		主な経費	
市債	360,200	委託料	15,829
一般財源	41,652	工事請負費	386,023

【目的】

老朽化が進む諏訪地区公民館について、令和8年4月に開校予定の諏訪中学校1階への移転整備を進める。

【8年度目標】

令和9年度中の供用開始に向け、着実な工事の進捗を図る。
 (令和8年度 移転整備、令和9年度 備品整備・供用開始)

【実施内容】

- ・ 諏訪地区公民館移転整備工事 401,852

区分	予算額	備考
委託料	14,234	施工監理委託
	1,595	廃棄物収集運搬処理業務
工事請負費	214,236	建築工事
	79,145	電気設備工事
	54,362	機械設備工事
	38,280	解体撤去工事（プール、児童館）

- ・ 諏訪地区公民館位置図



単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公民館管理運営費	243,287	194,190	49,097

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	6,842	市債	63,100
財産収入	78	一般財源	172,175
諸収入	1,092	報酬	29,763
		給料	14,106
		需用費	35,774
		委託料	57,947
		使用料及び賃借料	5,944
		工事請負費	73,279

【目的】

市民の生涯学習の推進及び地域活動の活性化を促すため、公民館の適切な管理運営を行う。

【実施内容】

地域住民が安全安心かつ快適に利用でき、学習活動が促進されるよう、適切な管理運営を行う。

(事業費内訳)

地区名	事業費	項目				
		報酬及び給料	需用費	委託料	工事請負費	その他
合併前 上越市	81,889	19,882	17,200	28,642	1,298	14,867
浦川原区	2,302	0	1,017	1,216	0	69
大島区	8,697	3,602	1,612	1,763	0	1,720
牧区	274	0	37	0	0	237
柿崎区	56,781	4,101	4,704	6,351	38,357	3,268
大潟区	9,354	2,490	1,046	4,090	0	1,728
頸城区	8,778	1,812	1,915	698	635	3,718
吉川区	35,423	3,570	1,070	311	29,172	1,300
板倉区	12,276	2,340	2,673	5,615	0	1,648
三和区	8,643	3,666	2,041	670	220	2,046
名立区	18,870	2,406	2,459	8,591	3,597	1,817
合計	243,287	43,869	35,774	57,947	73,279	32,418

※安塚区（コミュニティプラザ）、中郷区（はーとぴあ中郷）及び清里区（コミュニティプラザ）は、（ ）内の施設に予算を計上

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ管理運営費	79,004	46,290	32,714

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	15,220	諸収入	72
財産収入	1,142	一般財源	25,810
繰入金	36,760	報償費	80
		需用費	19,305
		役員費	716
		委託料	30,995
		使用料及び賃借料	1,052
		工事請負費	26,856

【目的】

多くの市民が集い、語り、交流する場として、充実した活動を行うことができるよう、施設の適切な管理運営を行う。

【実施内容】

- ・市民が快適に施設を利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・屋根の一部改修工事を実施する。

<参考>施設の概要

所在地	本城町8番1号
構造等	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造3階建て 延床面積5,004.49㎡
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール施設…ホール、スタジオ、練習室1・2・3、楽屋1・2・3、団体活動室 ・集会学習施設…研修室、会議室、多目的室、陶芸室、創作室、調理実習室、和室1・2 ・こどもセンター ・中庭、共用部、広場
開館時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール：午前9時～午後10時 ・こどもセンター：午前8時30分～午後5時 ・その他の施設：午前8時30分～午後10時
休館日	第2・第4火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日

令和8年度 補助金交付事業計画（案）

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
公民館係 (浦川原区)	生涯学習フェスティバル補助金	手作りの小さな文化祭	生涯学習の推進や参加者同士の交流を図るため、大島区・浦川原区・安塚区で文化活動に取り組んでいる個人や団体による作品展示と芸能発表を実施する。	144,000	
公民館係 (大潟区)	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	大潟区出身の小山作之助を顕彰するとともに、音楽財産を後世に残すため、音楽祭を実施する。	280,000	
公民館係 (頸城区)	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	生涯学習に対する理解や学習意欲を高めるため、頸城区で活動を行う市民を中心に、学習成果を展示・発表する音楽発表会や作品展を実施する。また、体験学習（ワークショップ）やブックリサイクルも実施する。	311,000	
公民館係 (吉川区)	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行うため、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
公民館係 (中郷区)	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル	地域で活動する個人や団体の活動内容を広く地域住民に知ってもらうことにより生涯学習に取り組む意欲を高めるため、作品展、体験教室、音楽芸能発表を行う。	150,000	
公民館係 (板倉区)	生涯学習フェスティバル補助金	板倉ふれあいまつり実行委員会	板倉区住民の生涯学習を推進し、学習の成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、文化展をはじめとした各種イベントを開催・運営する。	80,000	

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
公民館係 (清里区)	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区住民の生涯学習を推進し、学習成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、地域で活動する団体や個人の作品展示や体験教室を実施する。	95,000	
公民館係 (三和区)	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域住民の連携を深め、地域の活性化を図るため、地域で活動する人たちの日頃の学習の成果発表の場として、作品展示、芸能発表会や体験教室等を実施する。	250,000	
公民館係 (清里区)	地域独自の予算事業補助金	スターフェスティバル2026及び天文教育普及事業 実施主体： 天文指導協力員会	上越一の天文体験施設をいかして、天文教育の普及を図るため、観望会の実施協力のほか、スターフェスティバルを開催し、天文講演会や星空コンサート、天文工作教室等を実施する。	801,000	
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研修会等の事業を支援する。	1,355,000	上限額
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体）	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	200,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係	岩内町交流 事業補助金	上越市子ども 会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	40,000	上限額
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	すわっ子わく わく事業 実施主体： すわっ子クラ ブ	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、二貫寺の森での野外活動や各種体験教室等を実施する。	395,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	上雲寺小学校 児童の地域お 宝発見・地域 住民ふれあい 事業 実施主体： 上雲寺小学校 最寄会	児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、地域連携カレンダーを作成し配布する。	138,000	
生涯学習係 (柿崎区)	地域独自の 予算事業補 助金	第9回手しごと・手づくり 柿崎・上越作 品展 実施主体： 手しごと・手 づくり柿崎・ 上越作品展実 行委員会	ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。	386,000	
生涯学習係 (牧区)	地域独自の 予算事業補 助金	青少年健全育 成体験事業 実施主体： 特定非営利活 動法人牧振興 会	子どもたちに、普段できない体験活動を通じた学びの場を提供するため、体験型イベント「わんぱく村」を開催する。	405,000	

担当係 (担当区)	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係 (牧区)	地域独自の 予算事業補 助金	「うたって・ おどって・み て」楽しい暮 らしを応援事 業 実施主体： 牧文化協会	仲間づくりやふれあいを大 切にする気持ちを醸成し、文 化活動実践者及び鑑賞者の 裾野を広げるため、「生涯学 び続けることの楽しさ」を伝 える「夢まつり」を開催する。	109,000	

令和7年度 社会教育委員による事業訪問について

1 実施目的

社会教育課で実施する社会教育事業について、社会教育委員・公民館運営審議会委員から参加してもらい、事業に対する意見や提案を寄せていただく。寄せられた意見等を今後の事業計画や運営に反映させるなどして、より充実した社会教育事業の展開を図る。

2 対象事業

- ・各種公民館事業、社会教育事業（市展、生涯学習フェスティバル、謙信 KIDS プロジェクトなど）対象事業を限定しない。

3 事業訪問の流れ

- ① 【社会教育課】各種公民館事業、社会教育事業の日程等を定期的に郵送する配布物と合わせてお知らせするほか、市ホームページ等で情報収集いただけるよう準備を進める。
- ② 【委員】各自興味のある分野の公民館事業や社会教育事業の日程を確認し、事業実施日の1週間前までに、訪問事業を社会教育係へ連絡する。（メール、電話、Fax）
- ③ 【委員】事業訪問を実施。（社会教育委員の名札着用）
- ④ 【委員】裏面「令和7年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」により、意見・提案を事業訪問参加後1ヶ月以内を目安に市へメール・Fax・郵送・持参のいずれかの方法で報告する。
- ⑤ 【市】いただいた意見・提案を今後の事業計画や運営に反映できるよう検討する。

4 その他

- ・参加を強制としない。
- ・裏面「令和7年度社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート」の提出を受けて、自宅から事業開催会場までの距離に応じた交通費（22円/km）を口座振込で支給します。
- ・市民として申込・参加した場合も、意見・提案等ありましたら、任意の様式で報告をお願いします。（交通費の支給なし）

令和7年度 社会教育委員による事業訪問 意見等報告シート

事業名		講座名	
開催日		委員名	

No.	項目	評価 (※)	意見・提案
1	目的に対して、活動内容は適切であるか	
2	講座全体の雰囲気	
3	参加者の様子、取り組む姿勢 (受講中の表情など)	
4	全体を通しての感想及び意見 (自由記述欄)		
		

※ 評価 (◎: とてもよい ○: おおむねよい △: 改善する点がある ×: 改善すべき)

- お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。(メール、FAX、郵送、持参のいずれかの方法をお願いします。)
- コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

【提出先】

〒942-8563
 上越市下門前1770 教育プラザ内
 上越市教育委員会社会教育課 社会教育係
 電話: 545-9245、FAX: 545-9272
 メール: shakaikyoubu@city.joetsu.lg.jp

令和7年度 社会教育委員による事業評価（下半期）

資料No.4-1

事業名	ねらい	開催日時	開催場所	活動内容	参加者数	社会教育委員による事業評価 ※評価(◎:とてもよい ○:おおむねよい △:改善する点がある ×:改善すべき)						今後の対応など	
						目的に対して、活動内容は適切であるか		講座全体の雰囲気		参加者の様子、取り組み姿勢			全体を通しての感想及び意見(自由記述欄)
						評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント		コメント
1 直江津再発見カレッジ最終回 オーレン教養カレッジ最終回 【高田・直江津地区公民館事業】	高田地区と直江津地区という上越市の2つの中心的なまちの違いと共通点を参加者自らの体験として理解し、地域の歴史・文化を学ぶことで両地区の相互理解と交流を深めることを主たる目的とする。	R7.10.22(水)	直江津市内直江津学びの交流館	今回の講座は、現地まち歩き+講師による解説+交流活動という構成で実施した。港町としての歴史的背景、関川河口付近の地形と街並み、かつての北前船の寄港地としての役割、直江津の祇園祭や伝統行事が地域の人々に根差していることなどを神社やお寺などをめぐることを実地で観察した。その後、昼食を一緒にとり、午後から意見交換会を実施。まち歩きの感想・気づき・質問を共有する交流時間を設けた。	28	◎	普段住むのと違う地域をその地域に住む人と一緒に歩く事で、互いの歴史と、生活の根底に流れる意識の違いを感じられ、とても良い機会になった。	◎	講師の力により、話が具体的に興味をそそられ、楽しい時間が過ごせた。	◎	参加された皆さん、和気あいあいの雰囲気の中で、興味津々で現地を見、講師の話に耳を傾け、参加者同士、感想を述べ合った。	・今回は直江津の街歩きであったが、参加された皆さん、上越市民であり、今までにも何度も聴いていた話ではあるが、実際に現地を歩き、講師の説明を聞きながら改めて見ると、断片的な知識、そして、歴史の流れが繋がって来る。特に高田地区から参加された方々は、新鮮な驚きを感じられたと思う。 ・私自身は、直江津で生まれ育ち、今は春日山地区に暮らしますが、同じ市民でありながら、他の地区の事を意外と知らずに過ごし、彼等の根底に流れている意識の違いをなかなか理解できずに居るのを、もどかしく感じている。今回、高田地区からの参加者皆さんの目線と、どのような反応をするのかに興味をそそられての参加でした。 ・異なる地域の参加者が一堂に会し、同じものを見、同じ話を聞きながら、それぞれの感想を語り合う。その機会を公民館が提供する。これは素晴らしい、そして大切な事だと感じます。	今回の交流をきっかけとして、両地区間で定期的な合同講座やイベントを開催することにより、受講者同士のつながりを深めていきたい。たとえば両地区の歴史・文化を学ぶためのワークショップを実施するなど、両地区の地域資源を活かした連携・協働の機会を作り出し、今後の地域活動や地域づくりにつなげる基盤を構築したいと考えている。 なお、令和8年度は高田地区のまち巡りを実施する予定。
2 やちほ楽習塾1 「議会の流れと傍聴」 【八千浦地区公民館事業】	誰もが生涯にわたって学ぶことができる機会を提供し、主体的な学びへの意欲を高め、交流の輪を広げる。	R7.12.11(木)	上越市役所	市民の代表でもある議員の活動内容や役割、市が行う各種施策や事業等について議会の流れや実際に議論の様子などを学んだ。	10	○	「議会見学で、議論の様子などを学ぶ」という目的をより具体的にすると、評価しやすくなる。本活動を通して、どんな市民を育てるのか、そのための活動はこれよりいか、見直すよよい。	◎	参加者一人一人が、議会事務局の説明や議会での話を真剣に聞いていた。今日の学びを、家族に、そして近隣の人々に伝えてほしいと思った。	◎	説明を聞いてメモしたり、参加者が相互に和気あいあいとした雰囲気の中で話し合ったりと、初めて参加した私も、いつの間にか仲間になっていた。こうした開かれた活動がとてもよい。	個人では知ることや体験することが難しい様々な学習の機会を提供することで、日常をより豊かにしていくとともに、新しい仲間との出会いや交流によって、学びの継続意欲を高められるよう、次年度以降も事業を継続的にしていきたい。 また、受講者からは「見学時間が少なかった。」との時間配分に関する意見があったため、今後の事業計画時の参考としたい。	
3 キッズフェスタ実行委員会(9) 【有田地区公民館事業】	中央公民館事業「こみんかんキッズフェスタ」を企画・運営する中高生ボランティアを育成し、イベントを成功させるとともに、公民館のにぎわいを創出し、青少年の居場所づくりに資する。	R8.1.17(土)	有田地区公民館	5月から毎月1回土曜日の午後集まり、「こみんかんキッズフェスタ」実施に向け、意見を出し合い、協議しながらイベントの企画を行った。実施内容の企画にあたっては、講師を招いて実際に自分たちで体験するなどの経験を通して、より確かな企画に結び付けていった。 【主な活動テーマ】全9回 ①顔合わせとイメージ会議 ②やってみよう！と提案会議 ③プログラム作成会議 ④本番に向けた打ち合わせと準備作業 ⑤本番後の振り返り 大山委員からは、最後の「⑤本番後の振り返り」の回を見学いただいた。	9	△	今年度の活動を振り返り、来年の活動や時期などについて相談することが目的の取組だった。指導者は、どんな人を育てるか具体的に、活動内容との整合性を図ることも大切だと思えた。	◎	年齢に関係なく一人一人が同じテーブルに着き、真剣に話し合い、来年度の活動を具体的に考えて協議していた。事前に調べて、自分の考えを具体的に示して参加するとよいと思った。	◎	具体的な取組や参加者の様子などを思い起こして、次年度の活動内容と実施日を相談していた。部外者の私を受け入れる広い心が育っており、ともに活動する大人の姿がとてもよかった。	・直江津東地域青少年育成会議(地域学校協働本部)が、地域事業全体の中に本事業をどう位置付け、具体的な目標をどう示し、事業の担当者が共に実施する当事者とともにその目標に迫るための活動を、具体的に示した活動計画を作成するとよいでしょう。 ・当事者でスタッフとなる子どもたちと作成する実施計画は、本日のような取組を通して納得のいくものになるとよいです。 ・リーダーとなる大人は、P・D・C・Aではなく、A(aim 目標)・P(plan計画)・D(do 実行)・E(evaluate評価)・I(improve 改善)によるマネジメントをすることを勧めます。 ・社会教育における組織マネジメントについて、行政側の職員においても研修を、現場での指導に役立てるとよいと考えます。 ・また、子どもたちやかかわる地域の大人においては、できる人が、できるときに、できることを、無理せずに、楽しく活動するとよいでしょう。	中高生を主体とした実行委員会による運営形式は2年目が終わり定着してきた。実行委員の子どもたち一人一人の成長が見て取れたことが最大の成果である。キッズフェスタ当日は大人に頼らず自ら工夫して説明パネルを製作したり、大きな声で呼び込みをしたりする姿が頼もしく見えた。これからはより子どもたちの主体性を育むべく、実行委員長を子どもたちから選出し、運営していけるよう体制を整えていく予定である。 また、今後も継続的に事業を実施していくためには、委員の確保が不可欠であるが、新たな委員の確保に当たっては、これまでの地元小中学校への協力依頼のほか、委員自らが友人に声掛けしていくことも重要であり、そのために自らが行動していく力を本事業を通して育んでいく必要がある。 このほか、実行委員会を支える大人の支援についても、現在の直東学園との連携をより一層強化していく必要がある。

「上越科学館子どもたちの学びの場充実事業」で整備した 新規展示物の公開について

1 概要

子どもたちの化学への興味を醸成するため、ふるさと上越応援基金（企業版ふるさと納税等）を活用（※）して、元素（解説形式）や化合物（ゲーム形式）を学びながら化学に触れる元素周期表展示物を整備し、一般公開を行うもの

※令和7年1月、日本曹達株式会社（本社：東京都千代田区）より、「上越科学館子どもたちの学びの場充実事業」に対して、企業版ふるさと納税による寄附を受けたもの【寄附額】40,000,000円（令和7年2月20日、市から感謝状を贈呈）

2 場所

上越科学館2階Eゾーン

3 工期

令和7年7月17日（木）から12月19日（金）まで

4 日程

令和7年 12月12日（金） 竣工検査
12月18日（木） 内覧会（報道機関向け）
12月25日（木）～ 一般公開


<参考> 新規展示物（名称：元素シューター）の説明パネル

元素シューター

この世界は、何からできているのでしょうか？
鉛筆や本、食べ物や服、地球や月や宇宙までも、全てのモノは“元素”という細かい粒が、元素同士がくっついた“化合物”でできています。元素は「周期表」という一覧表で整理されていて、現在118個見つっています。
「元素シューター」で遊びながら、元素とモノの関係を調べよう！

遊びかた

- ①シューターを操作して、モードを選ぼう。
- ②操作説明にしたがって、元素パネルを撃ちぬこう。



回転させて
スイッチで選択

